

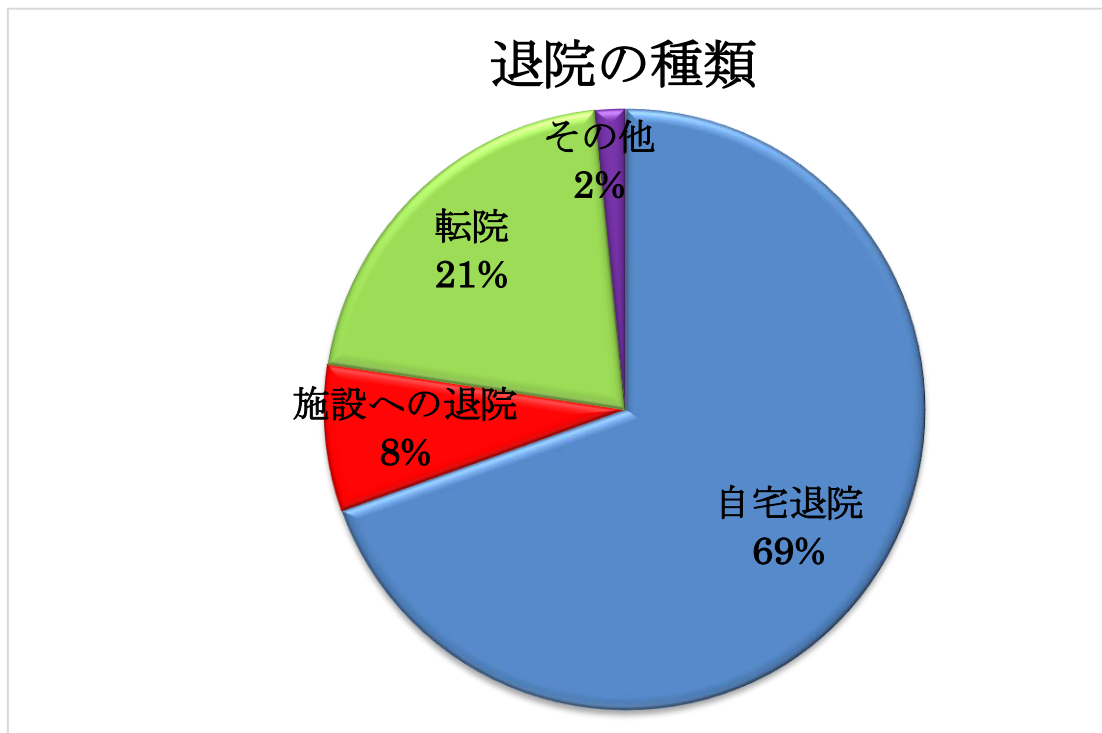
J-BADO 結果（2018 年 4 月～9 月）

※医療観察法病棟を除く全病棟の新規入院

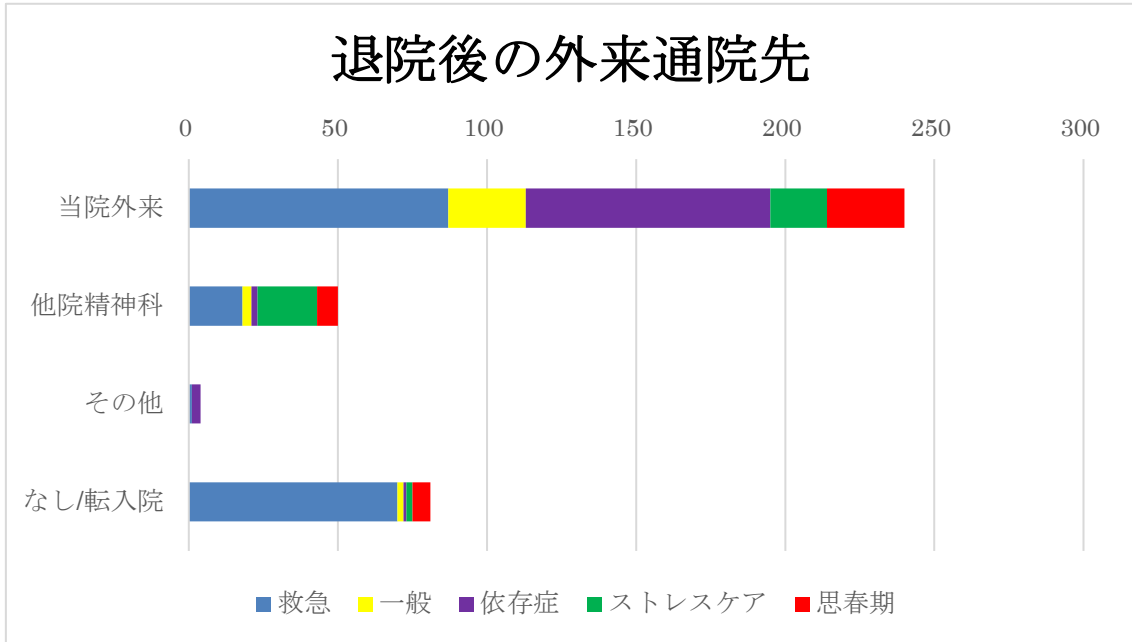
2018 年 4 月～2018 年 9 月新規入院例（入力数）

病棟	救急	一般	依存症	ストレスケア	思春期	全体
入院数	278	29	108	52	52	519
退院数	179	31	90	41	40	381
平均在院日数	31 日	60 日	33 日	61 日	41 日	38 日

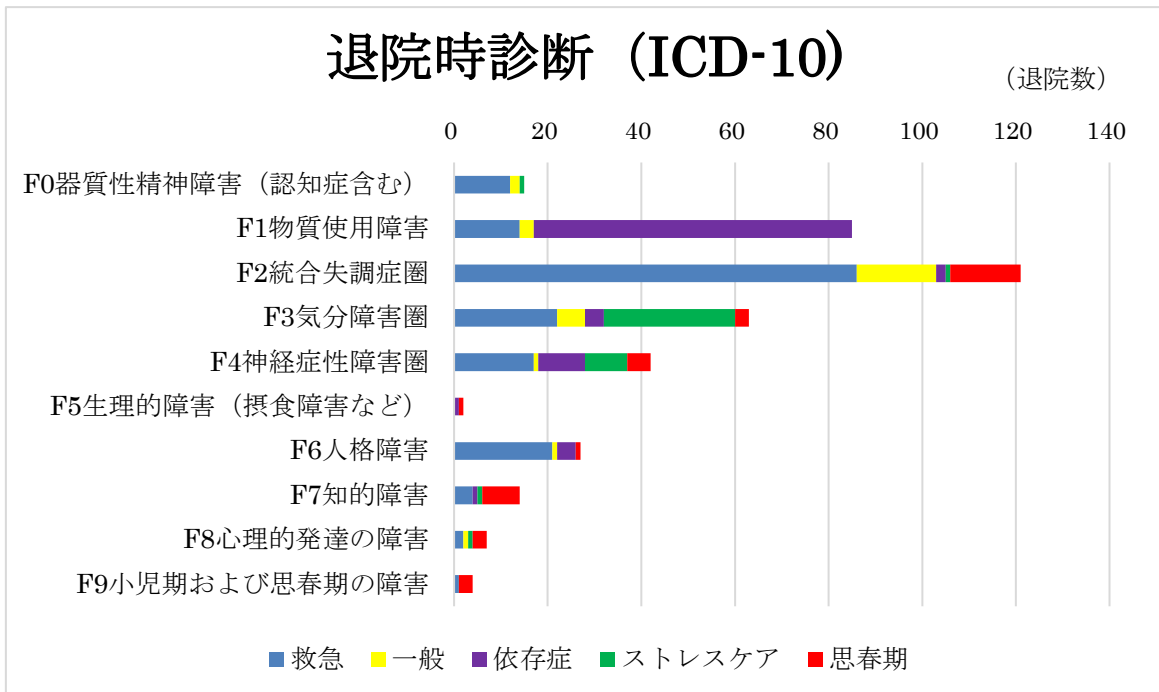
2018 年 4 月～9 月新規入院例



約 7 割が自宅退院している。転院例は、県救急システムの後方移送または身体合併症による転院がほとんどである。

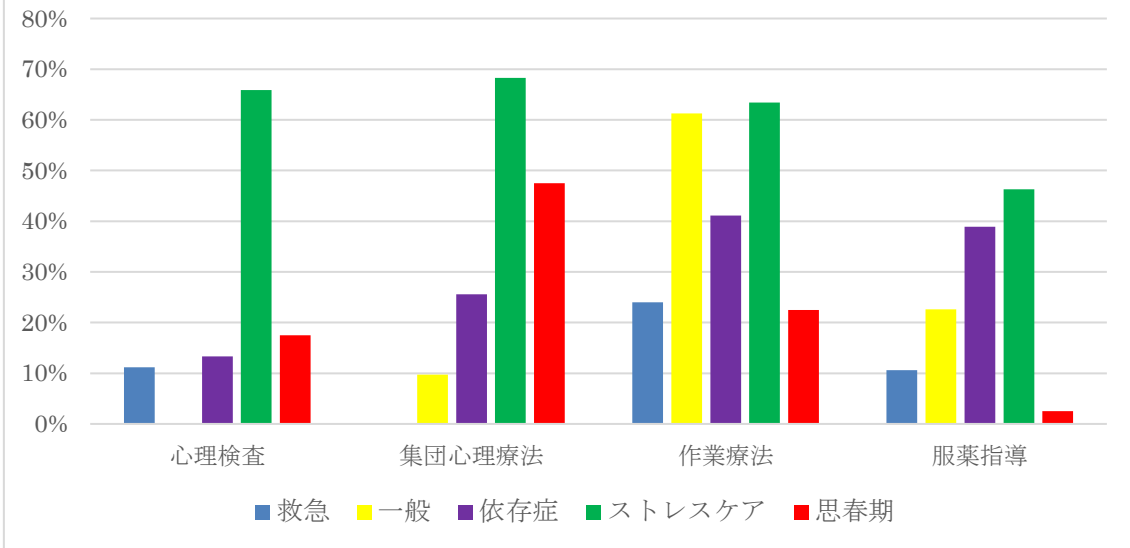


退院後、多くは当院外来に通院している。ストレスケア病棟では約半数が紹介元に戻っている。



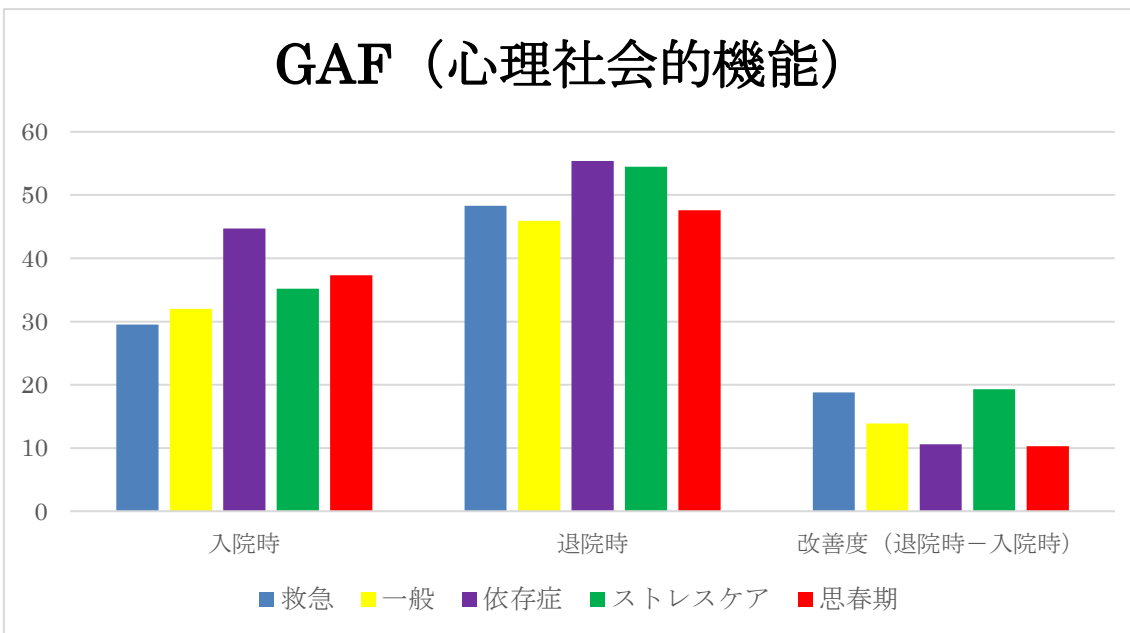
全体では、統合失調症圏が最も多く、物質使用障害、気分障害圏とつづく。

入院中の心理社会的治療 施行率



救急病棟ではおしなべて心理社会的治療の施行率が低い。一般病棟では作業療法の施行率が低い。依存症、ストレスケア、思春期病棟などの専門病棟では心理社会的治療率が高い。

GAF（心理社会的機能）



GAFは100点満点で、数値が高いほど心理社会機能が高く重症度が低いことを意味している。すべての病棟でGAFは改善している。入院時の機能が低い病棟ほど改善度が高く、入院時の機能が低い病棟ほど改善度は低い傾向にある。